昭和62年11月15日（1987）　No.245

大豊町の概要

位置	東経133度40分　北緯33度45分（位置は地籍調査班の調査による）
面積	320.54平方粁　東西32粁　南北28粁　部落数86
人口	8,640　男4,081　女4,559
世帯数	3,257（10月末日現在住民基本台帳調）

館報 大豊

昭和62年11月15日発行
全世帯配布
編集　大豊町中央公民館
発行　大豊町中央公民館
印刷　高知印刷株式会社

高速交通時代の幕開け

10月8日　高知自動車道開通

建設相ら出席し　大杉中体育館で祝賀会

南国インターで開通式

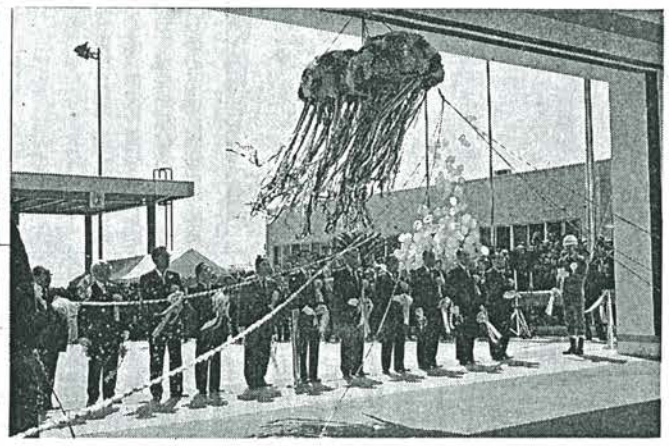
八十四万県民待望のハイウェー・高知自動車道（大豊～南国間二十一㌔）が去る十月八日午後三時、一般に供用が開始された。

供用開始に先だち南国市領石の南国インターでは午前十時から関係者約四百五十人が出席し開通式が盛大に行われた。

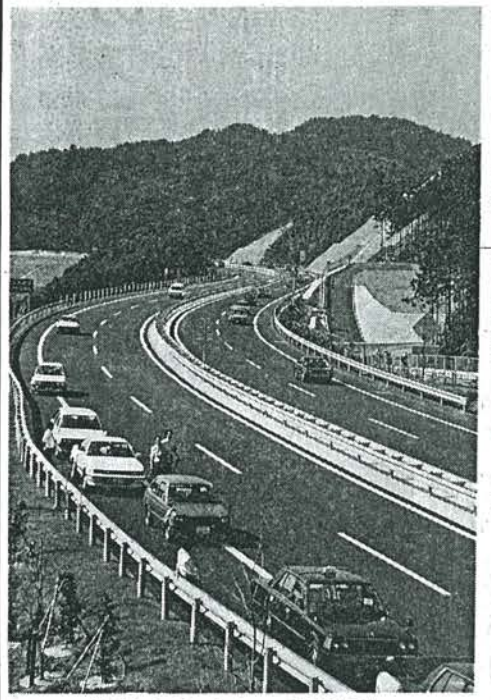
開通式は県警音楽隊の演奏する軽快なマーチの中、十時五分すぎ、矢野建設相、宮繁日本道路公団総裁、中内県知事、稲葉自民党国土開発四国地方委員長ほか県関係衆参両院議員らによって赤白のテープにハサミが入れられた。また同時に渡辺大豊町長、小笠原南国市長、小野土佐山田町長ら沿線首長と用地提供者代表小笠原恒子さん（川口南）らがくす玉を割り、風船一千五百個が大空に舞い上がる中、花火も打ち上げられ盛大に開通を祝った。この後、出席者は三百台の車に分乗し、公団職員らの拍手に送られ『祝開通』と書かれた大アーチをくぐり、抜けるような青空の下、ハイウエーの通り初めを行い祝賀会場の大杉中学校体育館へと向かった。

またこの日は、大豊・南国間の開通により国内の高速自動車道が四千㌔を突破（日本列島を往復する長さ）したということで、午前九時二十五分、南国インター料金所わきに建立された『高速道四千㌔開通記念』碑の除幕式が行われ天野建設相、宮繁公団総裁、中内県知事ら関係者の手によって除幕が行われた。

わが国の高速道路は、昭和三十八年に名神高速道路の尼崎～栗東間七十一㌔が誕生してから実に二十四年目。やっとわが高知県も遅ればせながらもハイウエー時代への一歩がしるされた。



くす玉が割られ、建設相らによるテープカット



快適な山岳ハイウエーの通り初め

高知自動車道は、四十六年六月に基本計画が決定され、路線発表（五十三年）を経て五十六年九月、本線工事に着手。この程完成にこぎつけたもの。総事業費は九百三十四億円で一㌔当たり四十二億円が投入され、完成までに七ケ年、工事従事者は延べ百十万人余という。

ハイウエーには十八の橋りょうと八つのトンネルがあり山腹を貫き高い谷間をわたる難工事のすえ、完成した山岳ハイウエーであり関係者の感慨も一入。

制限速度は暫定二車線区間（大豊インターから曽我部川橋＝十六㌔）が六十㌔、四車線区間（曽我部川橋から南国インター＝五㌔）が八十㌔となっている。

通行料金は普通車六百円、大型車八百円、特大車千四百円となっている。

午前十一時十五分から大杉中学校体育館で行われた祝賀会で挨拶にたった天野建設相は、四国横断道は厳しい地形的条件を克服し、関係者の御努力によって完成したものである。瀬戸内と四国を結ぶこの高速道は、四国の社会経済等の発展に大きな役割を果たす重要な路線である。

大豊～南国間二十一㌔が開通したことはまことに御同慶のいたりである。

四国地方は交通網整備が全国でも一番遅れている、今後は残る区間大豊～川之江間の整備に尚一層の努力をし六十七年には供用を開始すると力強い挨拶に地元関係者もひと安心。

ともあれ、明春には開通する本四架橋をひかえ嶺北地域も大豊～川之江間の完成により名実ともに高速交通時代へと突入する。

それはまた、物と情報が一緒になって同時に押しよせる時代の到来でもあり、広域経済圏の中にあって地域間交流、地域間競争の激化をもたらす時代ともなろう。これからの嶺北地域は好むと、好まざるにかかわらず、そうした時代の大きな流れの中にいやおうなく船を漕ぎだすことになる。かつては早明浦ダムの建設による地域の発展に夢を賭け時代の流れに押し流された苦い体験を思いおこし今こそ嶺北二万三千の住民が心を一つにし危機感を持ち、現状に妥協することなく進取りの精心をもって町づくり、村おこし事業の積極的な推進が必要な時機であろう。

高知自動車道開通記念　モグラマラソン大会　千五百人参加

嶺北五カ町村では、十月八日に供用が開始された高知自動車道（大豊～南国間）の開通を記念して去る十月四日、マラソン大会を開催した。

このマラソン大会は嶺北五カ町村で組織する「れいほくモグラマラソン大会実行委員会」（委員長野島孝彦）が主催し、社団法人日本青年会議所高知ブロック協議会（会長浜口幸作）が共催して行われた。

コースは高知自動車道二十一㌔をマラソンコースに仕立て、総延長の半分以上の十二㌔がトンネルということから、「れいほくモグラマラソン」と名付けられ、『88れいほく博』の関連事業として開催された。

四日当日には早朝から色とりどりのスポーツウエアで千五百人の参加者が大豊インターを埋めつくした。

開会式では野島委員長や渡辺町長らが緑多い嶺北の山岳を抜けるハイウエーを自分の足で走り、自然を満喫してほしいと挨拶。

また参加者を代表してマラソン申込者一号の安芸市北川、江川敏夫さん（五七）が「人とのふれあい、豊かな自然を満喫しながら、本県初の高速道をモグラのように完走します」と力強く宣誓し、大豊町交通安全母の会（会長上村寿美子）が交通安全を祈願して用意した五百個の風船が大空高くまい上がった。

午前十時参加者全員が一㌔の総ジョギングで軽く足をならした後、二十㌔、五㌔、三㌔の順でスタートし長いトンネルを抜けてゴールめざし駆け下りていった。

尚上位三位までの入賞者は次のとおりで、参加者全員に記念品が進呈された。

実行までには色々とお世話頂きました役員の方をはじめ嶺北町村関係職員の御苦労に対し心からお礼を申し上げます。

3kmコース男子入賞者

順位	氏名	年齢	住所
1	村上富保	26	南国市奈路203-8
2	高田博通	33	南国市大埇乙2465
3	中原義春	45	香川県香川郡香川町大字浅野1266-7

3kmコース女子入賞者

順位	氏名	年齢	住所
1	吉永真喜	14	南国市岡豊町八幡1109
2	笹岡恵美	13	大豊町大畑井
3	原幸子	50	大豊町大王下

5kmコース男子入賞者

順位	氏名	年齢	住所
1	真鍋陸	37	愛媛県越智郡波方町波方白岩
2	市原敏正	33	徳島県美馬郡貞光町大坊下
3	林邦夫	24	香美郡野市町下井816-4

5kmコース女子入賞者

順位	氏名	年齢	住所
1	川崎弘子	47	南国市大埇乙2957
2	下元貞恵	54	須崎市西古市町5-9
3	岡村民	50	香美郡野市町西野2105-16

20kmコース男子入賞者

順位	タイム	氏名	年齢	住所
1	1:08:17	丑本卓志	24	高知市八反町2-12-33 山岡マンション302
2	1:08:33	山崎初則	31	吾川郡伊野町駅前1469-12
3	1:08:45	今西文明	27	幡多郡佐賀町佐賀1677-2

20kmコース女子入賞者

順位	タイム	氏名	年齢	住所
1	1:26:39	市川絹子	41	南国市大埇乙2346
2	1:26:48	砂金幸子	43	香川県高松市多肥士町375-3
3	1:27:20	西原盛子	35	南国市奈路189-1

二十㌔コース入賞者

左から
男子　丑本卓志（高知市）、山崎初則（伊野町）、今西文明（佐賀町）
女子　市川絹子（南国市）、砂金幸子（高松市）、西原盛子（南国市）

選手宣誓をする江川敏夫さん（安芸市）

新たな飛躍へのステップ

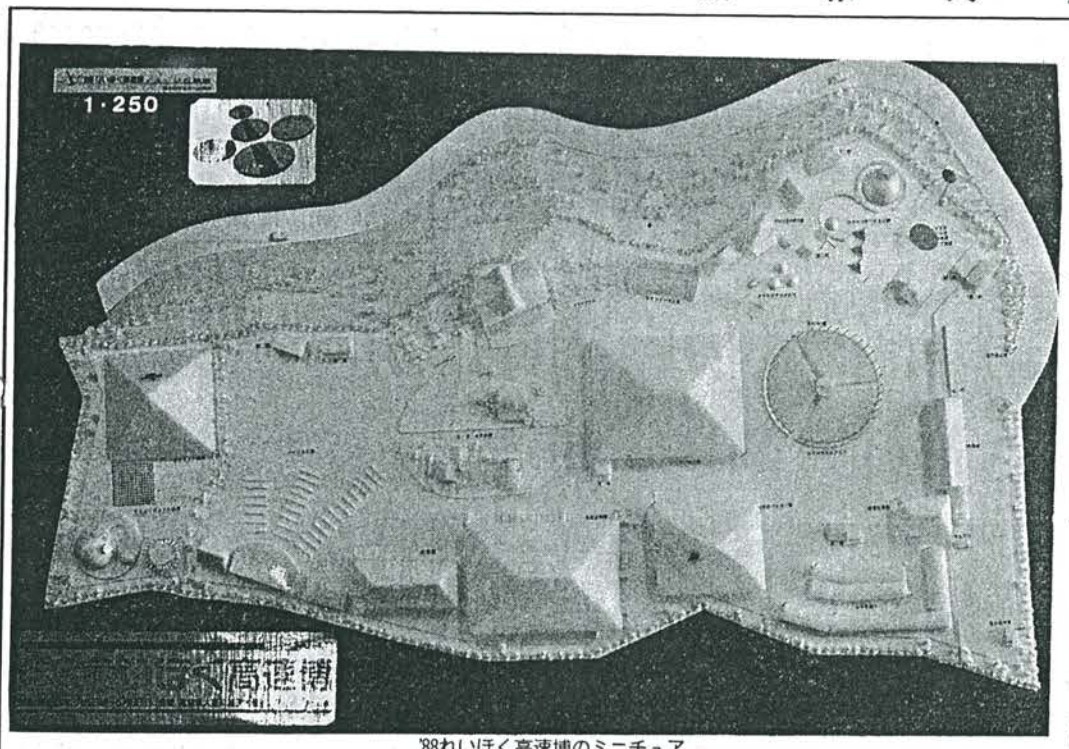
『森と水』をテーマに '88れいほく高速博始動

高知自動車道（大豊～南国間）の開通を記念して来年三月二十五日から五月八日までの四五日間開催される『'88れいほく高速博』の全容がこのほど高速博実行委員会議（総裁渡辺大豊町長）より発表された。

この高速博は高速道時代の到来を機に嶺北五カ町村が一体となって二十一世紀への新しい飛躍へのステップを目的として開催される。

会場は大豊インター近くの森林組合上部を大豊町土地開発公社が買収、造成中のプラチナ広場一万三千平方㍍で開催され、駐車場は造成地の残土で隣りの谷間を埋めて出来た約二万平方㍍を利用する計画である。

実行会議では『'88れいほく高速博実行委員会』（秋山勉大豊農協組合長）を開催し次の基本計画を協議決定した。



'88れいほく高速博のミニチュア

'88れいほく高速博 実施企画の内容

基本理念

高知自動車道は、六十三年の本四連絡橋「瀬戸大橋」、六十五年（予定）の「川之江～大豊」間の完成により、島国四国、なかでも四国山地にはばまれ交通面で後進性を強いられてきた本県が本州と直結、新交通網時代へと大きく変化する「土佐の生命線」であり、本年十月の「大豊～南国」間の完成は、輝かしい21世紀に向けての第一歩として記念すべき世紀の大事業の完成であります。

この好機をとらえ「森と水」をテーマとして、嶺北五カ町村がひとつとなり手づくりの博覧会を開催、高速道完成に伴う新交通網体系を通じての、新たなる交流の輪が広がり、さらにはこの交流の中から地域のすばらしい自然を再認識、大豊ICを核とする輝かしい21世紀の嶺北を建設するエネルギーの創造を期待して、いま「いなか」から熱きメッセージを送るものです。

基本方針

1、「いなか」との交流の場としての博覧会

五カ町村がひとつとなって博覧会を開催することにより、過疎化、高齢化という共通の悩みを持つ嶺北が博覧会を通じての交流の中から、同じ「いなか」に住む者としての人と人の強いきずなを生み出そうとするものです。さらに、来るべき21世紀の高速道時代に対応した、高知県、四国、さらには全国の「いなか」としての交流の輪を広げようとするものです。

2、「いなか」を知っていただく場としての博覧会

博覧会を訪れた人々に、嶺北の自然、歴史、営々と営まれている生活、人情など都市では接することのできない「いなか」を肌で感じていただくことにより、長い歴史と、豊かな自然にはぐくまれてきた嶺北の「いなか」、高速道の建設により大きく変化しようとしている嶺北の「いなか」を、知っていただこうとするものです。

3、「いなか」を体験していただく場としての博覧会

都市では体験することのできない、「いなか」の豊かな自然、自然と調和した生活、自然への挑戦、「いなか」の豊富な資源「森林」での森林浴、あるいは「木」を利用しての家具の手づくりなどを通じて、嶺北の「いなか」を体験していただこうとするものです。

4、「いなか」の未来を創造する場としての博覧会

博覧会を通じて「いなか」の未来を展望するとともに、高速道時代の「いなか」について語り、これを刺激として、ともすれば忘れがちな「いなか」ゆえに残されている自然を核とする豊かな未利用の資源の再認識を促し、さらに、これを活用した高速道時代にふさわしい「いなか」の実現にむけての可能性を探るとともに、そのエネルギーの醸成を促そうとするものです。

5、高速道時代の幕開けを祝う「お祭り」としての博覧会

高速道時代の幕開けをみんなで祝い、21世紀の嶺北の「いなか」、さらには21世紀の「国民休暇県・高知」に夢をはせながら、家族そろって一日「お祭り」を楽しんでいただこうとするものです。

6、各パビリオンの内容

1、れいほく館（テーマ）嶺北いま、むかし、そしてこれから

2、コミュニケーション館（テーマ）こんにちは！ニューメディア元年

3、セカンドハウス館及びアウトドアスクェア（テーマ）二十一世紀の夢を語る、くつろぎと憩いのスペース

4、高速道館（テーマ）日本がまた近くなった

5、世界のパトカー館（テーマ）パトカーが世界の国からやってくる

6、産業館（テーマ）地域に貢献する土・水・木

7、土・水・木の広場（テーマ）人と自然の調和を図る憩いの広場

8、イベント広場（テーマ）森と水

9、ピラミッド遊ランド（テーマ）ピラミッド迷路がやって来た

10、メインモニュメント（テーマ）森と水

11、ふる里通り（テーマ）〝ハレ〟の日ふるさと市

展示テーマ、展示内容等については紙面の都合により詳細は順次掲載する予定です。

会場全景

勢ぞろいしたキャンペーンガールの皆さん
右から　筒井瑞（大川村）、川井亜矢（本山町）、三谷みどり（大豊町）、小笠原聖華（本山町）、和田美代子（土佐町）、上村里香（土佐町）、石川久代（本川）、都築由美（大豊町）、福島智美（大川村）

シンボルマーク

豊富な自然と嶺北五カ町村をイメージ

'88れいほく高速博

〈森〉のグリーンと〈水〉のブルーによって構成される五つの円盤は豊富な自然と嶺北五カ町村をイメージさせます。そしてその中央を走りぬけるハイウェイは21世紀へと続き、嶺北地域の無限の可能性を期待させるものです。

この五つの円盤の構成にはもう一つ「'88れいほく高速博」の開催年である〈'88〉の数字がデザインされています。

これらの構成により、シンボルマークとして『親しみやすさ』と『近代的』な印象を視覚的、感覚的に訴求できると考えます。

高速博キャンペーン隊 県庁に中内知事を表敬訪問

'88れいほく高速博実行会議（総裁渡辺大豊町長）では、去る八月十四日、来年三月二十五日から開催される高速博のキャンペーン出発に先だち渡辺総裁他キャンペーンガール一行（三〇名）は名誉総裁である中内知事を県庁に表敬訪問した。

県庁正面玄関で行われた激励式では渡辺総裁があいさつにたち、「新しい高速道時代に向けて嶺北五カ町村が一致団結して取りくむ高速博を是非成功させたい。」とあいさつ。続いてキャンペーンガール九名の自己紹介があり博覧会の模型がキャンペーンガール三谷みどりさんと筒井瑞さんの手から中内知事に贈られた。

これを受け中内知事は「嶺北が自らの盛り上がりで手づくりの博覧会に取りくむことは誠に頼もしい限りである。暑いなか大変であるが、県下の市町村に積極的にPRをして成功させて下さい」と激励し、ポケットマネーで景品付博覧会場券一枚を景気づけに購入した。

知事を囲み記念撮影

町長さん頑張って下さい

その後中内知事をかこみ記念撮影。秋山勉実行委員長から出発のあいさつがあり、出席者全員で万歳を三唱してめでたく表敬訪問は終了した。

キャンペーンガール一行は十八日から県内各町村を訪問し、九月からは四国の三県に出向き博覧会への入場を呼びかける。

高知自動車道開通記念

山の幸・海の幸あつめ

"やまなみふれあい祭り"

川口南工業団地に1万人

高知自動車道の開通を記念して、嶺北五カ町村等(実行委員会「委員長秋山勉」)が取りくんでいた「やまなみふれあい祭り」が去る十月十日(土)から十一日の二日間、川口南の工業団地(大豊インターわき)で開催された。

やまなみふれあい祭り会場風景(川口南)

この催しは高知自動車道のドライブ客を迎え嶺北地域等の地場産品や観光資源を広く宣伝するとともに、明春三月二十五日から開催される『'88れいほく博覧会』のPRを兼ねて開催されたもので、連休ということもあって二日間で約一万人の人出があり賑わった。

この祭りは大豊町が毎年行っている『フェスティバル大豊』の産業部門(産業祭)に嶺北地域で組織する吉野川源流域観光連絡協議会(会長大豊町長渡辺盛男)や香南市町村観光連絡協議会(南国市長・小笠原喜郎)の行う観光物産展をドッキングさして実現したものである。

一万九千平方㍍の敷地には五十余りのテントがかけられ、各町村自慢の山の幸、海の幸が婦人会員等の手によって所せましと並べられ黒山の人だかり。赤牛のバーベキューあり、アメゴの塩焼き、田楽ありでおいしい香りが場内一帯にただよい売り子の威勢のよいかけ声も聞こえ、さながら高知市で開催される『ふるさと祭』のミニ版のようであった。

おいしい赤牛のバーベキュー
(庵谷肉用牛研究会の皆さん)

展示された産品は二日間でほとんど売り切れという盛況ぶりにほくほく顔の出店者も。二日目の十一日には景気づけの祝モチが渡辺町長らの手によって投げられお客は大喜び。午後一時からは会場中央に設けられたヤグラの上でRKC高知放送(ラジオ)の公開番組「MMCふるさと広場・カラオケのど自慢」の収録があり、RKCテレビでおなじみの浜田容助パーソナリティーや深石有利アナウンサーのユーモアあふれる名司会のもと町内外からのカラオケ名人が自慢のノドを披露し会場をわかせた。

農協婦人部による1.5次産品の販売

カラオケの幕間には嶺北五カ町村の代表が「おらんく自慢」と題して、わが町の自慢話を披露し宣伝に努めた。

大豊町からは高須の鎌倉登さん(七三)が浜田容助司会者と愉快なやりとりの中「歴史とロマンの町大豊町へ是非おいでを、空気はうまいし、食物も新鮮、人情も温かい、日本一の大杉、国宝薬師堂や県立自然公園梶ケ森もある」と、あますところなくわが町をPRした。

尚、カラオケの入賞者は次のとおりです。

一位　八畝　渡辺明美
二位　本山町　川井アヤ
三位　南国市　吉川泰子
熱演賞　永渕　北村幸身
努力賞　川戸　上村典義

「全国防犯運動月間キャンペーン」

嶺北防犯のつどいも開催

十一日同会場の一画では午後二時から、全国防犯運動月間のキャンペーンが嶺北地区防犯協議会(会長沢田本山町長)と本山警察署(署長金子範男)の共催で開催された。

キャンペーンでは一日署長に選ばれた本山町の前田幾世さんが、制服、制帽姿で犯罪のない素晴らしい郷土をつくろうと挨拶。

会場には嶺北の小中学生による青少年の非行防止に関係した図画や習字が展示され優秀作品の表彰も行われたほか、防犯協議会長並びに本山警察署長から表彰された。

大豊町からは、青少年の健全育成に功労のあった、ボランティアで日浦の浜田豊高さん(七三)と長野孝さん(三三)に協議会長並びに本山警察署長より表彰状と記念品が贈られた。

また、当日は県警音楽隊三十人余りが出席し、軽快な演奏も加わり意義のあるキャンペーンとなった。

国道439号一斉清掃

東豊永中央地区・西峰地区交通法規を守る会

「道は夢へも続いている」のキャッチフレーズで始まった「道路を守る」月間は八月一日から三十一日まで。

厳しい暑さの続くこの時期に、各地区の道路は道を愛護する人達の奉仕によって美しく生きかえる。

林道の草刈りをする秋山澄夫さん

大豊町は面積も広く道路延長も現在では四三九㌔㍍にも達したが、町の管理は完全に行き届かないこともあって、各関係部落の協力を得ているのが現状である。

各地区の奉仕作業は、測溝の土砂除去、空き缶やゴミの収集、生い茂った草木の刈込み等が主な作業であるが、豪雨の後などは大がかりな作業で、陥没した路肩の仮工事なども行うことがある。炎天下、また、雨の中でこの作業に車で通りかかると地域の住民である以上黙って通りぬけることはまず出来ない。それ程、地域のドライバーにとっては有難いものである。

このような作業が各地で行われているが、部落によっては出役として年中行事に計画されているところも多い。ここでは道路を守る月間にちなんで、二例を紹介したい。

去る八月九日(日曜日)東豊永地区民で組織する、東豊永中央地区交通法規を守る会(会長渡辺宣彦)では、西峰地区交通法規を守る会(会長小倉高春)に呼びかけ国道439号の栗生(天神)から大畑井間約十二㌔㍍の大がかりな清掃作業を行った。

この日天候は晴れたり曇ったりの空模様で、にわか雨も降るむし暑いなか、参加者は、ゴミ、缶の収集、草木の刈りはらいやカーブミラーの点検、補修等に勢を出し道路を美しくする人達の姿が目をひいた。

林道の草刈り奉仕はじめて四年

秋山澄夫さん(寺内)

次に大田口地区では、過去四年間、自分の通勤路とはいうものの、草刈りを続けている人がいる。

この人は秋山澄夫さん(寺内=嶺北自動車整備協業組合勤務=三十九歳)で林道大田口下名線(通称石川道)約一㌔㍍の両側を今年もきれいに草刈りを済ませている。

山間部の道路は道幅も狭く雨季に生い繁る草木は、道幅を狭くし見通しを悪くする。ドライバーにとっては危険をきわまりない。草刈りは必須の作業である。

その草刈りを勤務のつかれもいとわず一手に引受けて行う秋山さんは、自分の通る道なのだし、また草は畑へ運んで入れるし一石二鳥と、この件についてはあまり大袈裟にいわないでほしいと謙遜している。

この記事は地域の多くの人からの紹介で掲載させて頂きました。皆様の地域にもこうした心あたたまるお話がありましたら中央公民館の方に御一報下さい。

心ふれあう福祉のまちづくり

第七回大豊町社会福祉大会

被表彰者前列右2人目から　山中梅香氏、森下常一氏、川上芳太郎氏、三谷末吉氏、藤原元氏、岡崎太幹氏

講師明神宏和先生

共に生きる社会「心ふれあう福祉のまちづくり」をテーマに、第七回大豊町社会福祉大会が去る八月二十三日(日)農工センター文化ホールにおいて開催されました。この大会は町社会福祉協議会(会長小笠原茂)が行う恒例行事として定着しており、本年で七回目を迎え町民の関心も高く、町内各地域の各層から四〇〇人余りが出席し盛大な大会となりました。

当日は大会に先達ち優良高齢者六名に対し渡辺町長からそれぞれの功績に対し表彰状が贈られ、続いて昭和六十一年度高額寄付者の東土居、秋山信吉氏と大豊ライオンズクラブ(会長豊永幸利)に社会福祉協議会長から感謝状が手渡されました。その後、県教育委員会社会教課等で活躍した後、伊野町立神谷中学校長を最後に退職され現在でもなお社会教育面の講師として活躍中の明神宏和先生の「人生三万日時代」と題した講演がありました。

午後からは、演芸大会に移り大田口保育園児による可愛い踊りや合奏、合唱のほか、豊永地区民生委員とボランティアのオリジナル作品、福祉劇「お民ばあさんのひとり言」が熱演され、ねたきり老人の介護を通じ将来の地域福祉のあり方について呼びかけ好評を博しました。

また町内のボランティアからは歌に踊りにと沢山の出演があり、心を和まし午後三時すぎには「共に生きる社会」を皆で築いてゆくための交流と、ふれあいの社会福祉大会を終了しました。

おめでとう

第七回社会福祉大会表彰者

町長表彰

馬瀬　岡林大幹
功績、地域老人クラブの指導的役割、地域の美化活動推進に寄与
岩原　藤原　元
功績、農林業に専念し地域振興発展に寄与
西庵谷　三谷末吉
功績、県有種牡牛を生産し畜産振興に寄与
刈屋　川上芳太郎
功績、立川番所書院の管理人として文化財の保存と振興に寄与
目付　森下常一
功績、身体不自由な妻の介護の傍ら、地域老人クラブの役員として献身的な活躍
立野　山中梅香
功績、酪農経営の先駆者として畜産振興に寄与
社会福祉協議会長感謝状
昭和61年度高額寄付者
東土居　秋山信吉
大豊町ライオンズクラブ

あるく・みる・まなぶ

文化財と花めぐりツアー
新ルート開発
『原始ハスと小桧曽高原探勝ツアー』

西峰

大豊町むらおこし実行委員会の観光部会（部長吉村芳雄）では去る八月九日恒例の花めぐりツアーを行った。

このツアーは今回で十六回目を迎え「原始ハスと小桧曽高原探勝・文化財めぐり」と銘うって七月十九日に計画されていたが、台風五号の影響による集中豪雨災害の発生により延期されていた。事務局（商工会）では再募集ということもあり参加人数が心配されていたが、それでも五十三人（前回申込者九十五人）の参加者があった。

今回のツアーは従来のツアーコースに新しく設定したコースで、西峰地区公民館（館長三谷雄喜）の観光部会（部長笹岡慶吉）の希望を受け入れて実現したものである。

西峰地区では昨年地区公民館に観光部会を発足させ、京柱峠を核として西峰地区の観光開発を進めようと熱心な話し合いがもたれていた。

また、地元では地区民をあげて京柱峠付近に植栽された千本余りの桜の下草刈りや、小桧曽山頂（一、五〇〇米）までの登山道の整備を行うほか、西峰青年会では、見事な案内標識を作り京柱峠をはじめ、山頂などに建立してツアー客の受け入れ準備を進めてきた。

当日は、不安定な空模様で先日の大雨の影響も心配されたが雲の合間から太陽ものぞくまでに回復し関係者は一安心。

JR豊水駅に午前七時五十四分におりたったツアー客一行は二台のバスに分乗し定福寺に到着。定福寺では本堂において釣井住職の読経に心を洗い県指定文化財の六地蔵の笑顔に心を和ませ、境内の浄土池にピンクの色も鮮やかに咲く原始ハス（別名古代ハス）や万葉植物園を探索し、民俗資料館を見学した後、京柱峠へと午前十一時過ぎに出発。

途中南小川渓谷沿いの国道四三九号線をバスにゆられながら京柱峠（標高一千米）に十二時前に到着。

峠に着いたツアー客は、下界とは一味違う冷んやりとした心地よい風に両手を広げ深呼吸をする者、山あいに点在する西峰の在所や祖谷の里を眺める人、今登って来た経路を辿るグループ等。『素敵、来て良かったねえ』と仲間と語らう光景は主催者や地元の方達にとってはこのうえない喜びである。京柱峠では、歓迎にかけつけた渡辺町長が粋な白いスポーツウエア姿で歓迎の挨拶を兼ねて、西峰、京柱峠にまつわる平家伝説、先人の歩んだマホロバの道など歴史とロマンを秘めた情熱的な話に、ツアー客は今回設定した新ルートの認識を深めた。

また、地元からは、通称ヒゲの「おんちゃん」で有名な三谷晴喜さん（大畑井）が京柱峠から祖谷渓谷に点在する平家の里や、土阿県境に広がる山々の紹介、西峰地区で行われていた昔の雨乞いの風習などユーモアを交えた親しみのある説明に峠一帯は和やかなムードに包まれていた。

昼食は千本桜のメーン広場に西峰地区婦人会が心をこめて設営した野趣味たっぷりの手料理をかこみ三谷西峰公民館長の歓迎挨拶もあり地区民を交えた和やかな歓談がしばし続いた。

昼食をすました一行は、本日の最終目的地である小桧曽山頂を目指し午後一時過ぎに出発。

小桧曽山は本来山の名前は無く地元では通称小桧曽の三角点と呼び、昔から西峰小中学校の遠足登山で親しまれた山であり、今回のツアーを機に地元では小桧曽山と呼ぶことにし山頂に標識を設置した。

一行の中には七十八歳になるおばあさんや六十五歳以上の高齢者（主に女性）が八名もおり、登山コースも五合目頃までが、胸突八丁の狭い登山道で、前日の雨ですべりやすくなっており心配された。しかしながら白タビに草履ばきといういでたちのおばあさんも参加し、二時間半余りかけて山頂を征服し参加者から拍手で祝福を受けていた。

山頂付近は、ゆるやかなスロープになっており、緑のジュータンを敷き詰めたような熊笹の中に米ツツジの群落が厳しい風雪に耐え見事な樹形をつくり出し、さながら盆栽を見るようである。

頂上からは四国山地の素晴らしい山並が一望できるほか、東方向には矢筈山（一六〇一㍍）が手の届くような感で眺望でき、三十分程度で縦走できるとのこと。

山の天気は変わりやすいとよくいわれるが、この日も下界とは異なり、頂上に到着後約四十分程で谷間から吹きあげてくる霧に視界を妨げられ真夏というのに肌寒さを感じる気温となり早々に下山することにした。

下山コースはもと来たコースとは別に設けたコースをたどりながらの下山で、途中には地元の人達が名付けたモミ千本と書かれた標識のある見事なモミの木の林をぬけ、森閑としたブナの大木が生い茂る林で一休み。登り道とはひと味違った趣のある下山コースに一行は疲れも忘れ大喜びであった。

京柱峠下では地区の婦人会が味噌の香りもこうばしく焼きあげたジャガ芋や豆腐、コンニャクなどの田楽をおいしそうに食べながら和やかなムードが漂う。

秋にはまた紅葉ツアーを実施します。是非のおいでをお待ちしていますと地元代表の挨拶に『秋はまたええろうねェー』『またきたいねー』と話し合ってるグループもおり、初めての試みで心配していた地元の人達も評判のよいのに安心したようで、秋の紅葉ツアーに期待をふくらませていた。

熊ザサの中を登山するツアー客一行

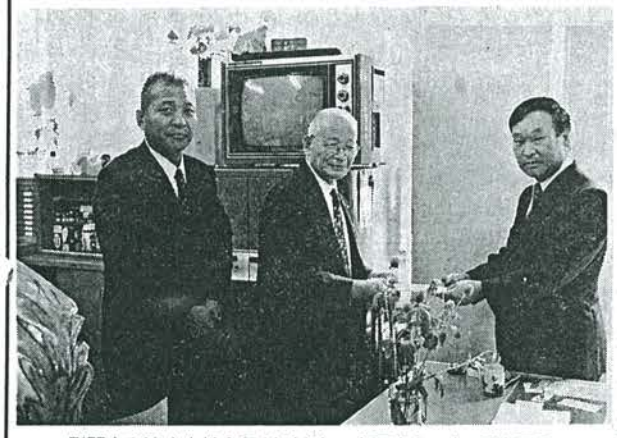
小桧曽山頂上で一休み　霧が出て残念

おいしいねえ西峰婦人会自慢の料理

ひげのおんちゃんで有名な三谷晴喜さん

最高齢参加者　岡田照子さん（78歳）

東京嶺北会
小松会長・今西幹事長
老人ホーム大豊園を慰問


慰問金を渡す小松会長（中央）左、今西さん　右、都築園長

嶺北地方の東京在住者で組織している、東京嶺北会の会長小松延秀氏（西峰出身＝台日商事株式会社取締役社長）と、幹事長今西昭一氏（立川出身＝大倉工業株式会社代表取締役）のお二人は去る九月十五日昨年同様、東京嶺北会の方々の温かい慰問金を持って、嶺北養護老人ホーム大豊園（園長都築幹夫）を訪問されました。

都築園長は毎年こうした温かい御厚志を頂き、お年寄りも大変よろこんでおります、と職員・入居老人一同を代表して心からのお礼を申し述べていた。

尚、お二人は大豊園を慰問したのちお忙しい中を本山町にある、嶺北特別養護老人ホーム「嶺北荘」並びに土佐町田井の特別養護老人ホーム「トキワ苑」を慰問せられ翌日の飛行機で東京にお帰りになりました。

お二人にお聞きしますと、東京嶺北会は会員も年々増えつつあり、益々発展のご様子でお同慶に存じます。

高知県もいよいよ高速交通時代を迎え、休暇県高知を全国に宣言し嶺北地域も「やまなみふるさとゾーン」に指定されました。嶺北は一つというかけ声のもと、来春三月二十五日から四十五日間高知自動車道の開通を記念し「'88れいほく博覧会」を企画し頑張っております。

その節には東京嶺北会の皆様にも是非のおいでをお待ち致しております。

ともあれ東京嶺北会の益々の御発展と皆様の御健勝を心からお祈り致します。

老人ホーム慰問賛同者名簿
62・9・15現在

山原健二郎　本山町(本山)
平石磨作太郎　大豊町(中内)
名誉会長
吉永多賀誠　大豊町(南大王)
沢田千鶴子　本山町(本山)
副会長
藤田　達雄　土佐町(森)
幹事長
今西　昭一　大豊町(立川)
副会長
畠山　権治　本山町(大石)
幹事
西村　誠吉　土佐町(床鍋)
幹事
鈴木　和彦　大豊町(立川)
高橋　功　大豊町(馬瀬)
江森　京子　大豊町(落合)
柿本　由美　本山町(本山)
幹事
高橋　朗江　土佐町
幹事
武田トシ子　大豊町(立川)
幹事
中島　陽子　土佐町(田井)
幹事
中西ひさ子　大豊町(船戸)
幹事
西村　弘　大豊町(西峯)
副幹事長
原　広中　大豊町(岩原)
幹事
久保　勝　大豊町(大田口)
幹事
小笠原博幸　大豊町(岩原)
秋山　秀範　大豊町(庵谷)
吉川　広喜　大豊町(大田口)
大家　伸海　大豊町
幹事
松本すみえ　土佐町(田井)
笹国　常晴　大豊町(西峯)
顧問
谷　極子　土佐町(南泉)
新田喜代子　大豊町(八畝)
岩戸　嘉保
会長
小松　延秀　大豊町(西峯)

県民体育大会に出場

○ソフトボールの部
青年男子
○バレーボールの部
一般女子
○ゲートボール
A天坪チーム、B大杉チーム
○陸上の部個人（五千㍍）
○クレー　団体、個人

第二十五回県民体育大会秋季大会が去る九月二十七日高知市を中心に開催された。

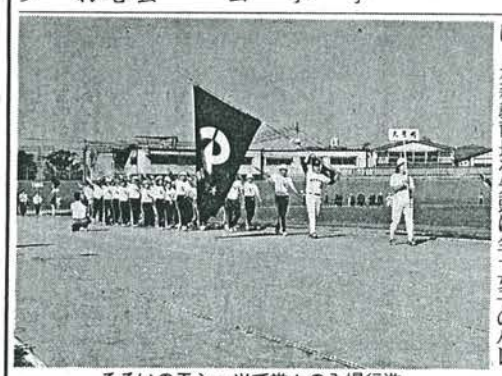
午前九時から市営グラウンドで行われた開会式では、永森教育長を先頭に全選手そろいのTシャツ姿で（'88れいほく博のTシャツ）六十人余りが堂々の入場行進。

大会本部前では野島町体育会長の号令のもと大会長（中内知事）に向け右手を高くかざし敬礼。

開会式終了後は各会場に分散し熱戦が展開された。

大豊町からは、青年男子のソフトボール並びに一般女子のバレーの部、ゲートボールの部、陸上の部、クレー射撃の五部門が出場。

それぞれの部門で善戦、健闘した、中でも陸上五千㍍では黒石の西内竹彦さんが堂々二位に入賞した。


そろいのTシャツで堂々の入場行進

楽しく遊び・学ぼう こどもキャンプ大会 手結海水浴場に歓声

県立香北青少年の家

恒例の大豊町こどもキャンプ大会が、去る八月十七日（月）から十八日（火）、香北町の県立香北青少年の家で行われた。

このキャンプ大会は町内の小学校四年生以上の児童を対象に町教育委員会が、毎年夏休みに実施している事業でこども達に人気のあるキャンプ大会である。

本年は過去の経験もふまえ参加児童が一学校に片寄らないよう、町内学校長会にも相談して各学校間で調整をして頂き三十七名の参加があった。

当日は晴天に恵まれ、農エセンターで行われた出発式では、永森教育長が楽しいキャンプ大会を通じ、いろんなことを経験し、学び、そして、友達を沢山つくって下さいと挨拶。

本年も指導者にボランティアの浜田豊高さん（日浦）小林康夫さん（穴内）長野孝さん（高須）の御協力を頂き事故もなく楽しいキャンプ大会が出来ました。

このキャンプ大会ではキャンプに必要な資材、食糧等の材料は提供するが、すべて子供達の協同作業で運営さし、日頃付き合いのない町内の子供達が共同作業を通じて友達づくりをし、楽しく遊び、学ぼうという方針で取りくんでいる。

現地には午前十時半頃に到着し一休み。こども達の初仕事はテント張りで、この作業は三〜四人のグループに分けて行ったが、各学校等のキャンプで経験もあるのか、それほど苦労する様子もなく無事完了。テント張りがひとますすむと昼食、休憩。

一休みした後は、長野孝さんの指導による楽しい野外レクリエーションに移り子供達の歓声が香北の山々にこだましていた。

キャンプに来て一番楽しいことは、レクリエーションはいうにおよばぬが、やはりおなかをすかして野外でおいしい食事ではなかろうか。

午後四時からは各班ごとに分かれての夕食の準備に移る。各班にはそれぞれ、米、野菜、牛肉、飯ごうがくばられ、薪を運ぶ者、お米をとぐ者、野菜をきざむ者、それぞれ班長の指示によりなれぬ手付きで悪戦苦闘していた。

みんなそろって記念撮影

なかでも、最近の家庭はプロパンガスを燃料にした炊事であることから、薪にマッチで火を付けるのに一苦労。

やっとマッチに火がついたと思ったら薪の上に新聞紙がおかれ、紙のみが燃えて薪に火がつかないグループ、なれぬ手つきで涙をぽろぽろ落としながら玉ネギを切る女の子、ニンジンの皮をはぐ男の子（手を切りそう）、米をときながら水と一緒に流してしまう者、そばにいてついつい手伝ってやりたいのをじっと我慢する。

食事の用意が出来たグループから食事をしてよいということであり、要領のよい組はご飯がたけあがった時には、焼肉もほどよく焼けて、おいしそうに食べているグループ。まだ顔をスミだらけにしてやっと薪に火がついて一安心というグループもいた。

それでも悪戦苦闘のすえ、どうにか全グループの食事がすんだのは日が西の空に入るころであった。

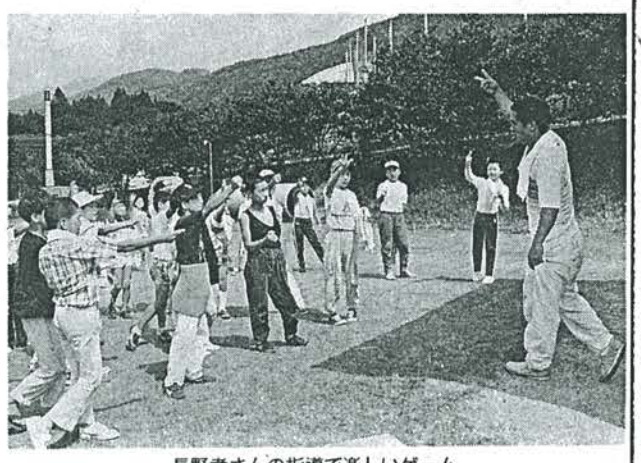
夕やみせまる頃、キャンプファイヤーに移り、指導員の小林康夫さんが趣向をこらして作った仕かけをつたいシュル・シュルという音と一緒に遠くの方から火の玉が飛んで来て高く積み上げられた薪に見事点火、あたりがぱっと明るくなる。子供達は思わぬ趣向に大喜び。鈴木先生（前大杉小校長、現補導員）扮する火の神が真白い衣装をまとい暗闇の中から現れ、大豊の子に幸せあれと祈りながら、各班の班長のトーチに火が点もされる。班長からは各班員に次々と点火、厳粛な儀式もすみ、ボランティアの指導のもと楽しいゲームに時のたつのも忘れた。

翌朝子供達は昨日の疲れも忘れたのか、早朝から目がさめ、事務局や指導者もねむたい目をこすりながら起こされる始末。

朝食は、昨日の夕食の経験もいかされたのか何とか準備も出来、あたたかい味噌汁、つけ物などをおかずに楽しい朝餉をすました。

後片付けの後は、最後の楽しみである手結海岸での海水浴に午前十時に出発、午後二時頃まで真黒になって海水浴を楽しみ、午後二時半にはバスで帰路についた。

初日は初対面の子供も多く、ぎこちなさがとれず学校別にかたまったり、中には親がいけというので仕方なしにきたとぶつぶついう子供もいた。しかしながら楽しいゲームやキャンプファイヤー、食事の準備などを通し気心も通じてか、帰る時には、「来て良かった」「どっさり友達も出来た」と目に涙を浮かべ感激する子、「また来年も来たい。けんど卒業じゃけんこれん」と残念がる子もおり、わずか一泊二日のふれあいであったが、胸にジンとくるものを感じる今年のキャンプ大会であった。


長野孝さんの指導で楽しいゲーム

ご飯も上手にたけた　サアー食べよう

火の神（鈴木先生）各班長のトーチに点火

全国交通安全キャラバン隊 大豊町で街頭キャンペーン 嶺北交通安全母の会や保育園児等が歓迎

「みんなですすめる交通安全」をテーマに全国を行脚している全国交通安全キャラバン隊の一行が、去る八月二十日大杉検問所広場に於いて街頭キャンペーンを行った。当日は本山警察署管内各機関と嶺北交通安全母の会の方々や穴内保育所、大杉保育所の園児達、八十余名が白バイに先導されたキャラバン隊を拍手で出迎えた。広場では県の交通安全母の会の西森会長が総務庁長官のメッセージを伝達。これを受け永森教育長が、「交通量の増大と交通の多様化による交通事故は年々増加の傾向にある。悲惨な交通事故をなくし安全で快適な地域社会を目指し嶺北住民が一体となって取りくむ」と大豊町長の決意表明を読みあげ、続いて上村寿美子町連合婦人会長等が歓迎の挨拶を述べた。

セレモニーの後は、本山警察署大杉検問所の職員の誘導により広場に案内されたドライバーに対し嶺北地区交通安全母の会の方々がヤクルトやチラシをくばり交通安全を呼びかけていた。

町長の決意表明書を渡す永森教育長
左・西森会長

安全運転でネ……

中小企業団よりお知らせ

中小企業の方々の「退職金制度」の加入促進をはかっております。

ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

応援します、ゆとりある人生。

事業主の退職金制度

【小規模企業共済】

「小規模企業共済制度」は、いわば国がつくった事業主の退職金制度です。月々掛金を納付していただくことによって事業をやめたり、役員を退職したときなど第一線を退いたときに法律で定められた共済金が支払われます。すでに加入件数は、一〇〇万件をこえており、大きな共済の輪になっています。将来にそなえて小規模企業共済へのご加入をおすすめします。

制度の特色

●掛金は、全額が所得控除
掛金は全額が小規模企業共済等掛金控除として、そっくり課税対象所得から控除されます。

●共済金は退職所得扱い
共済金は退職所得として取扱われます。

●安全・確実
共済金の額は法律によって定められておりますので安全・確実です。

●貸付制度
加入者（一定の資格者）には、その積み立てた掛金の範囲内で即日に貸付けが受けられる一般貸付と傷病災害時に経営安定を図るために必要な資金を共済金の範囲内で貸付けが受けられる傷病災害時貸付があります。

加入できる方は

●常時使用する従業員二〇人（商業とサービス業では五人）以下の個人事業主含び会社や企業組合・協業組合の役員の方々です。

●ひとりで事業を営んでいる方、また自由業の方も加入できます。

毎月の掛金は

●毎月の掛金は、最低一、〇〇〇円から最高五〇、〇〇〇円までの範囲内（五〇〇円きざみ）で自由にえらべます。

加入後、掛金は増・減額ができます。（ただし減額する場合、一定の要件が必要です。）また、掛金の前払いもできます。

お問い合わせは

この制度のくわしいことは、最寄りの中小企業関係団体（商工会連合会・市町村の商工会・商工会議所・中小企業団体中央会など）及び金融機関のほか都道府県の商工担当課・通商産業局の中小企業課又は中小企業事業団へお問い合わせください。（産業課）

大豊町消防団操法大会

優勝 大田口分団船戸部
準優勝 大田口分団大田口部
三位 東部分団岩原部

嶺北第十七回操法大会 大田口部団船戸部 三位入賞

消防技術の向上と団員の士気の高揚並びに、消防活動の進歩、充実を目的とする消防団夏季演習操法大会が、去る八月二日、大杉農村広場で開催された。

今年は昨年の板送り競技と隔年ごとに行われている操法競技大会が実施され、一五チーム、二六八名の他、大久保婦人消防隊も出場し炎天下真剣な競技が実施された。

競技は各部とも、夜間にそれぞれ練習に励んだだけあって、キビキビとした動作でその成果を発揮した。

嶺北消防本部（消防長川田昌弘）嶺北消防署員の厳正な審査の結果、優勝は大田口分団船戸部、準優勝同分団大田口部、第三位は東部分団岩原部がそれぞれ入賞した。

尚三位までのチームは去る九月六日土佐町田井で開催された嶺北消防団連合会秋季連合演習、第十七回操法大会に出場し、大田口分団船戸部は、小型ポンプ操法の部において三位に入賞、他の二チームも健闘し上位に入賞した。

優勝した大田口分団船戸部

キビキビした操法大会

若妻さん集合!!

―桑の実ジャム加工講習会開催―

現在、怒田・南大王・西川・八畝・大平・発電所の若妻が集い、「農村婦人大学講座」という勉強会を開いています。

六月の勉強会で、桑の「実」のジャム作りを、いたしました。

当日は、朝早くから桑の実採りに出かけ、皆で真黒に熟した実をワイワイ言いながら選別しました。昼からはいよいよジャム作りです。

ジャムは、強火で一時間程かけ、こげつかないようかきまぜながら煮つめなければなりません。

汗だくになりながらできあがったジャムは、トロリとして味も良く、なかなかの評判でした。

「せっかく作ったから、クレープにして食べよう。」

「これはおいしい。」

「来年は、早いうちから桑の実を採って作っておこう。これなら近所に分けても、喜んでもらえる。」

と、大喜びでした。

同世代の気の合った若妻さんが集まるのです。家族のこと、子供のこと、和気合々と楽しいひとときを過ごしました。

皆さんも、来年には桑の実ジャム（マルベリージャム）を、作ってみてはいかがですか。

嶺北農業改良普及所
大豊支所

マルベリージャム

〈材料〉
桑の実……1kg
砂　糖……600g
レモン……2～3個

〈作り方〉
①桑の実を砂糖でまぶし1～2時間おく。
②①を3～4回に分けミキサーにかける。
③②をホーローか厚手の鍋に入れ火にかける。この時レモンも加える。
④出てくるアクと種をていねいにすくいとり、1時間あまり煮込んで出来あがり。

夜どおし歩いて二十五キロ

青年教室生羽根岬～室戸岬間を歩く

大豊町中央青年教室では昔人の旅の苦労を体験し健全な精心を培おうということで、去る七月二十日から二十一日にかけて「マホロバの道を行く」と題して羽根岬、室戸岬間（25km）を夜どおし六時間をかけて歩きました。

七月二十日午後十時に羽根岬を出発、翌朝4時に室戸岬へ到着。教室生は途中かなり疲れた様子で何人か脱落しそうになりましたが、なんとか全員最後まで歩くことができました。

今は25km位なら車で三十分ほどですが、車のなかった昔は何時間もかけて歩いたということで、教室生は実際に歩いてみてはじめてその大変さを痛感したようでした。

やっと室戸岬に到着した教室生は、歩いた疲れも忘れ今も昔も岬をまっ赤に染める日の出にみいっていました。

夜どおし歩いた青年教室の仲間

大砂子八板神社の鳥居完成

氏子総出で祝う

大砂子八坂神社（代表総代石川正澄）の鳥居が老朽化したため、このほど新しく建立し、七月十九日に落成式が盛大に行われました。

八坂神社の境内には先日来の大雨にもかかわらず、大砂子地区ほぼ全戸の老若男女が集まり、神事、通り初めが行われたあと天砂子獅子舞保存会による獅子舞（町指定無形民俗文化財）が奉納され大砂子公民館での代表総代、大砂子区長（中西勝永）が「これを契機として、より一層の協力を」という挨拶のあと祝宴にうつりました。

この鳥居の建立にあたっては地元篤志家による原木の寄贈、また地区婦人会が前日より作った祝いもちがまかれるなど、みんなの心のふれ合いが感じられた鳥居の完成を心から祝った一日でした。

みごとな鳥居の完成

言葉の履歴書

秋波・秋扇

女性のこびを表わす目つきのことを漢語的表現で「秋波（しゅうは）を送る」といいます。「秋波」は、もともと秋のきれいに澄んだ波のことですが、転じて女性の涼しく美しい目つきをさすようになりました。

色っぽい流し目が波のように寄せてくるのを感じたとき、相手の男性は「秋波を浴びせられた」という印象を持ったわけです。

「秋波」と同様に「秋扇（しゅうせん）」という言葉も女性と深い関係があります。

扇子は、暑いうちは重宝がられるのに、涼しい風が吹くころにはいらなくなります。使われなくなった秋の扇という元の意味から、この言葉は捨てられた女のたとえに転用されました。

「秋扇」のそうした用法は、中国の前漢の時代に皇帝の成帝（せいてい）にもっとも愛された班女（はんじょ）という美人が、ライバルにその座を奪われたとき、わが身を秋の扇になぞらえて嘆いた故事によるものです。

いったん「秋扇」の身の上となっては、いくら「秋波」を送っても、もう手遅れでしょう。

平均寿命

その年の人口動態統計と、毎年十月一日現在の人口推計を基に、同じ年の死亡状況が変わらないと仮定して、各年齢層の人が平均してあと何年生きられるか（平均余命）を計算した表を「簡易生命表」といいます。

このうち零歳児の平均余命を「平均寿命」と表現しています。厚生省が七月に発表した「六十一年簡易生命表」によると、日本人の平均寿命は男七十五・二三歳、女八十・九三歳。男が七十五歳を超えたのは初めてで、男女そろって世界最高水準の長寿国となりました。

日本人の平均寿命は、昭和十年当時は男四十六・九二歳、女四十九・六三歳でしたが、戦後の二十二年に男五十・〇六歳、女五十三・九六歳と五十歳を超え、その後もほぼ毎年のように平均寿命の上昇が続いています。

近年の寿命の延びは、中高年齢層の死亡率が下がっているのが主な原因で、平均寿命はまだまだ延びるだろうと予測されています。

ご存じですか 建設業関係のみなさん!!

建設業を営む方々、及び建設現場で働くみなさん、国が作った「建設業退職金共済制度」をご存じですか。

この制度は、昭和二十九年に中小企業退職共済金法により作られた制度です。

この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業所をやめた時支払われる退職金でなく、建設業という一つの業種の中で働く限り、事業所に雇用された期間全部を通算して退職金を支払うという、いわば建設業界ぐるみの退職金制度です。

退職金は、国の制度ですから、確実、安全であり、極めて有利な利回りで計算されています。

現在、全国で十二万の事業主、百六十五万人の労働者がこの制度に加入し、退取金の積立てが行われ、すでに四十万人の労働者が退職金を受け止り、その額は七百八十二億円を起えております。

この制度について詳しいことは、下記にお問い合わせ下さい。

問い合せ先　高知市本町4―2―15　高知県建設協会内建退共高知支部
電〇八八八㉒六一八一

（産業課）

覚せい剤一度か身のたつた破滅

●覚せい剤は、あなたの心のすき間をねらっています。

●覚せい剤は、暴力団の最大の資金源となっており、彼等は、

「この薬は疲れによく効く」

「無理なくやせ、スマートになる」

などと言って、巧みに誘惑してきます。

●覚せい剤を一度でもうつと、続けてうちたくなり、最後には身も心も破壊され、平和な家庭や社会を不幸のどん底につき落してしまいます。

○覚せい剤乱用のない、健康で明るい社会づくりに、皆様の御協力をお願いします。

覚せい剤の乱用でお困りの方は、県薬務課又は、最寄りの保健所か警察署へ、お気軽に御相談ください。

やめよう
なくそう
シンナー遊び

●シンナー・接着剤などのガスを吸っていると、精神異常や大脳のいしゅくなどの作用があり、時には死に至ることもあります。

●高知県においても、シンナー乱用による死者が、毎年のように発生しています。

○シンナー・接着剤などの乱用をなくすため、皆様の御協力をお願いします。

○家庭では、日頃から子供の態度、行動、持物、友人関係に十分注意してください。

○職場や学校では、シンナー・接着剤の正しい使用方法や有害性、危険性を十分理解させるとともに、盗難防止等管理に万全を期してください。

○販売店では、シンナー・接着剤の正しい使用方法を説明し、乱用の恐れがあると思われるときは、有害性を十分理解させ、販売しないようにしてください。

シンナー・接着剤などの乱用でお困りの方は、県薬務課又は、最寄りの保健所か警察へ、お気軽に御相談ください。

これが手口だ！

悪質海外商品先物取引にご用心！

被害総額七十四億円

素人には危険がいっぱい

「絶対もうかります」――の甘い言葉で誘い、大金を巻き上げる悪質な海外商品先物取引業者による被害は、一向に減りません。

昨年度（昭和六十一年四月～昭和六十二年三月）に通商産業省、農林水産省および都道府県の窓口にもち込まれた海外商品先物取引の相談・苦情件数は三千二十件、金額にして七十四億円に及んでいます。

海外商品先物取引は、香港、ニューヨーク、ロンドンといった海外商品市場において金、石油、砂糖、大豆などの商品を対象とした先物取引です。この取引は市場が海外にあるため、一般の人には刻々と変わる相場を確認するのは、容易なことではありません。為替相場の変動も考えねばならず、素人にとっては危険がいっぱい潜んでいるといえます。

誘われても取引する意志がなければ、きっぱりと断りましょう。あいまいな受け答えは、悪質業者につけ込まれるもとです。不審に思ったら、お金を支払う前に最寄りの相談窓口へ相談しましょう。

また、万一お金を支払ったとしても業者の言いなりにならず、最寄りの相談窓口や弁護士に相談するなど、強い姿勢で対応しましょう。

いずれにしても、先物取引に「絶対もうかる」ということはないわけで、安易に契約書にサインしたりせず、お金を渡す前に、もう一度よく考えることが大切です。

悪質業者の実態を知ろう

被害者別勧誘方法あれこれ

最近の苦情・相談をみると、お年寄り、主婦、若い独身者層が特に多いようですが、この中から被害者別にみた悪質手口のいくつかを紹介しましょう。

①お年寄りの場合

外出の機会の少ないお年寄りに、親切を装ってデパートへの買い物に誘うなどした後、豪華な内装の事務所に連れ込んですっかり信用させて、取引の仕組みもわからぬまま百万円の預金を引き出させた。

②若い主婦の場合

ご主人が勤めに出た合い間に訪問。「ご主人に内緒でもうけてびっくりさせたら」などと言って誘う。近所付き合いが浅く、相談相手のいないのを狙われたもので、ご主人にも相談できないまま、相場の変動によって追加金を要求され、二百万円の損害。

③独身OLの場合

「結婚資金を作らないか」と誘われる。「一か月ぐらいで二〇%の利益が簡単に出ます」と言われ、預金を解約して百万円支払い、契約した。

④中年主婦の場合

新聞、テレビなどの経済情報に関心が強いところが〝裏目〟に出て、業者との応答の過程でつけ込まれた。「中東情勢の悪化で原油の値上がり必至。今がチャンス」という話にとびつきご主人に内緒で定期預金を解約して契約書にサイン。なまはんかな知識はケガのもとです。

⑤サラリーマンの場合

ソ連の原子力発電所放射能漏れ事故で農作物に大被害、エルニーニョ現象で大豆、小麦に影響――とサラリーマンが興味をもつ最近のニュースと結びつけて誘われた。職場の忙しい時を狙って電話をかけてきて、「もういいです」「結構です」という断りの言葉を同意したと逆手にとり、注文したからと契約を迫る。煩わしいから一口（五十万円）契約してしまった。

⑥独身サラリーマンの場合

高校あるいは大学の後輩と称し、職場に直接訪ねてくる。「資金がない」と言うとサラ金を紹介され、断ったが連日職場に押しかけられ根負け。

以上のような手口で勧誘のすえ、契約をさせられお金を渡してしまった後は、無意味な売買の繰り返しで手数料を稼がれたり、当初利益がでるように仕組み、取引量を増加させて大きい損を出させたり、もうかっているとき決済をさせず、損が出ると決済を迫ったり、あげくには、突然会社をたたんで蒸発をしたりする例がみられます。

いずれにしても、このような悪質な海外商品先物取引で、多額の被害を受けた方が非常に多いので十分にご注意ください。

海外商品先物取引のことでお困りの方は通商産業省（〇三―五〇一―一五一一）および地方通商産業局、または農林水産省（〇三―五〇一―六七三〇）および地方農政局あるいは都道府県・市町村などの最寄りの相談窓口へご相談ください。

老人医療高齢化に想う

麦飯で健康を

大豊町立野　山中　梅香

大豊町の老人一人当たりの医療費は八十五万六千五百八十円（六十一年度）全国一人当たり四十七万七千九百四十四円（但し六十年度）大体十六倍程、おっとこれがたまるか、と色々と町民の反応があったことと思う。或る人は①これが町政のバロメーターと言う人②何でこんなに多くかかるだろう。年寄りが多いからだとか、何人ものお医者に診てもらうからとか、悪うもないのにとか、不当な健保請求だとか人それぞれの反応がある。私は高額医療費とか言うことは病人が多くお気の毒な人が多い。何とか健康で老後を暮らす方法はないものだろうかと考えます。

話は明治八年、雑穀と芋を食べていた農村の若者が米の飯が食えると言って海軍に志望して来た明治八年六月三日軍艦浅間は北海道に向かって出港した。航海日数四十四日、碇泊九十日、乗組員百名、その内五十三名が脚気にかかり九名がその為死亡した。同年十一月軍艦筑波がサンフランシスコへ、ハワイを経て百六十日の航海と百八日の碇泊で一日平均五十余名の脚気患者が出た。明治十五年七月、仁川で日本公使館が焼き打ちに合った。日本政府はただちに、軍艦、金剛、比叡、筑波を派遣した。ところが清国側から定遠鎮遠の二艦が送られて来て、四十余日間にらみ合った。ところが日本の海軍の大半が脚気となり砲火を交えるどころでなかった。日本はひそかに病兵と新兵を交代せしめ軍艦扶桑の応援を求めたが扶桑は乗組員三百九名中百八十六名の患者を出して品川沖に釘づけになっていた。明治十八年高木医務局副長は惨憺たる海軍の脚気禍を林一為の麦食を採用して功績を上げた。かくして脚気の為戦うことの出来ない日本陸海軍は麦飯を食うことで世界最強を誇り世界を相手に戦って見事負けるには負けた。

以上の歴史の事実と我が大豊町の現実を比較検討して見よう。前者は農村の若者が雑穀芋食から白米食への主食の変化と共に脚気患者の続出。後者は先祖代々何百年と大豊に出来た雑穀芋野菜食より、昭和三十年頃高度成長期から白米、肉食、インスタント食品に変化して来た。長寿老人社会となったが、成人病、痴呆症難奇病の続出となり前者と似交う経過に気がつきます。大豊の人間が健康に生きるには大豊の人間の胃や腸に合った食べ物が一番よい、それは何百年も食べて来た物である。

お金をとりお金をもうける農業、何時の間にやら資本に収奪される農業から自らの健康を守り生甲斐を感する農業へ転換して秋から差し当たり桑畑へ麦を作り麦飯を食べて見ませんか。白米飯は胃の中の滞留二時間半、半面麦飯は四十五分胃腸の働きの衰えた老人向きの食事です。又白米と白米麦の混合食をネズミに与えて歩行試験したら混合食の方が長く歩いた、スタミナが多いという動物実験もあります。

其の上麦は無農薬で作れます。残留の心配がありません。輸入麦はマラソン、スミチオンを輸送中使用玄麦で7PPM、三度の精粉で国際基準ときます。子供の頃嫌という程食べた物が自分の胃腸に一番なじんだ食物であることを今一度意識してほしいと思います。

大古爺婆、中古爺婆、三世代老人時代が来ます。一番頼りになるのは自分の健康です。自分の健康は自分で守る、それは生きる気力。

支払調書の提出は三月二日まで

南国税務署

給与、報酬、料金、利子、配当などの支払者は、支払先の住所、氏名、支払金額などを記載した書類（支払調書といいます。）を税務署に提出することとなっています。

この支払調書は、その年中の支払分を取りまとめて提出するもので、提出期限は利子、配当などの一部を除き、翌年の二月一日（例年は一月三十一日ですが、一月三十一日が日曜日に当たるため）となっています。

提出された支払調書は、支払先ごとに名寄せ整理され、課税の公平を図るための重要な資料となりますので、記載誤りのない支払調書を期限に遅れないように提出してください。

支払調書の種類は、

給与支払報告書

報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書

不動産の使用料等の支払調書

など数多くあります。

支払調書の作成や提出の仕方でお分かりにならない点がありましたら、お気軽に南国税務署（〇八八八～六三～三三五）でお尋ねください。

'88れいほく高速博

第1期抽選付前売入場券

≪当選番号≫

■1等（北海道旅行　3泊4日　3本）

A組 №16226、B組 №04078、G組 №18335

■2等（嶺北木製品　7本）

A組 №03954、A組 №15359、C組 №11472

G組 №18443、G組 №07042、E組 №02988

F組 №14765

■3等（嶺北牛肉　14本）

各組共通（A、B、C、D、E、F、G）下4ケタ　9987

■4等（記念テレホンカード　35本）

B組、D組共通　下3ケタ　724

■5等（嶺北地域のふるさと産品　70本）

B組、D組、E組、G組共通　下3ケタ　371

≪景品引き渡し≫

※期　間　昭和62年11月23日～昭和62年12月20日

※場　所　'88れいほく高速博実行会議事務局

高知県長岡郡大豊町高須231（大豊町役場内）

※当選者は、前もって事務局へ電話等で連絡下さい。

※事務局:☎0887－72－0450

川石の不法採取防止について

川（河）石は、自然保護上はもとより、台風や集中豪雨の際の災害発生防止に大きな役割を果たしています。

このため、県下の川石の採取は全面的に禁止されております。

しかしながら、四国山脈中央を流れる吉野川とその水系では、庭石として珍重される赤石、青石が産出しており、これらの石が県内外で大きな需要があるため、不法な採取が跡を断ちません。

これら不法採石者は、深夜大型トラック、大型機械を使用し、橋の欄かんや方ードレール、電線、電話線等公共施設又、植林などを損壊し、盗石行為に及んでおり、地域社会の影響は著しいものがあります。

これらに対しに、土木事務所としましては、これまでに実施してきました河川巡視や川石への番号表示などに加え、夜間のパトロール等監視体制の強化を図るなどしておりますが何分に管内が広いため万全を期すことができません。

この不法採取の防止対策として、最も効果的なのは、地元の皆様方による監視であります。

豊かな自然を守るとともに、私達の生命と財産を守るためにも、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

なお、連絡先は

○八八七㉖二一〇五

本山土木事務所まで

ふにおちぬ 不起訴処分に開く窓

検察審査会をご存じですか

交通事故、詐欺、暴行、傷害など、犯罪の被害に遭って警察や検察庁に訴えたのに、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。あるいは、選挙違反、汚職、電話盗聴事件など社会の注目を浴びた重大事件の容疑者を検察官が裁判にかけない。

どうも納得できない。こんな不満をお持ちの方はいませんか。

検察審査会は、右のような不満をお持ちの方のためにあるのです。まよわずご相談ください。相談、申し立てについての費用は、一切いりません。

検察審査会は、先に述べたようなことについて、申し立てがあった場合、検察官のした不起訴処分のよしあしを審査するのが、おもな仕事の一つです。

そのために、検察官のつくった不起訴記録を調べたり、必要に応じて証人を呼んだり、場合によっては実地見分などもして議決します。

不起訴不当、起訴相当の議決があった場合は、その議決を参考にして、検察官はその事件を再捜査して起訴すべきだと考えたときは、起訴の手続きがとられます。

検察審査会は、市町村選挙管理委員会の選挙人名簿をもとにして、クジで選んだ民間人の代表十一人で構成され、審査内容はすべて秘密にされます。

検察審査会制度を説明したリーフレットは、当事務局にありますから、町内会、婦人会、青年会及び老人会などでご利用ください。

高知検察審査会事務局
高知市丸の内一―三―五
電話 〇八八―三―〇三四〇
内線 三三一

昭和62年度

自衛官 2等陸・海・空士 志願案内

募集要項

1 受付期間
受付は年間を通じて行っております。
ただし、昭和63年3月高校卒業予定者は、文部・労働両省から示された期日以降選考を開始します。

2 応募資格
日本国籍を有し、採用予定月の1日現在18歳以上25歳未満の男子
ただし、次のいずれかに該当する者は資格がありません。
(1) 禁治産者及び準禁治産者
(2) 禁こ以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
(3) 法令の規定による懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

3 試験
(1) 試験期日及び試験場
受付時にお知らせします。
(2) 試験種目
筆記試験（国語、数学、社会及び作文）、口述試験、身体検査、適性検査

身長	155cm以上のもの
胸囲・体重	身長と均衡を保っているもの（身長165cmの場合は、胸囲79cm以上、体重50kg以上74kg以下）
視力	両眼の裸眼視力が0.6以上、又は両眼の裸眼視力が0.1以上で矯正視力が0.8以上のもの
色神・聴力	正常なもの
歯	多数のウ歯又は欠損歯（治療を完了したものを除く。）のないもの
その他	身体健全で、伝染性疾患、慢性疾患及び四肢関節等に異常のないもの

4 志願手続
(1) 志願書類の請求
市・区役所、町・村役場（又は自衛隊地方連絡部、同出張所及び同募集事務所等）において取り扱っています。
志願書類の郵送希望者は、あて先を明記した封筒に返信用切手をはって同封し、最寄りの上記場所に請求してください。
(2) 提出書類及び提出先
志願者は次の書類を前項の所へ提出又は郵送してください。
○2等陸・海・空士志願票……1通
(3) その他
志願書類の提出後又は受験後、住所を変更したときは、すみやかに最寄りの自衛隊地方連絡部へ連絡してください。

5 合格者の発表
(1) 試験後合格者にはおおむね1カ月後に採用予定通知書で通知するとともに入隊案内をお送りします。（高校在学の受験者については別にお知らせします。）
(2) 合格者の入隊場所は次のとおりですが、採用数に応じてその都度示されます。

区分	入隊場所（教育隊）
陸上要員	真駒内、多賀城、武山、大津、久居、山口、善通寺、相浦、別府、国分
海上要員	横須賀、舞鶴、呉、佐世保
航空要員	熊谷、防府

昭和63年3月及び4月の陸上要員については、上記のほか各部隊においても教育が行われます。

詳しいことは……市・区役所、町・村役場（又は自衛隊地方連絡部、同出張所及び同募集事務所等）へ

高知県香美郡香我美町岸本
自衛隊高知地方連絡部
南国分駐所
TEL 08875(5)3171
内線43
担当者 川村 征行

共同参加型社会の形成を目指して

男女は対等のパートナー

四十二・一九五キロを走るフル・マラソン。今では女子のマラソン競技も珍しくありませんが、仮に三十年前、女性が二時間半で完走できると予想した人が、いったい何人いたでしょうか。というよりも、当時は女性にマラソンなどできるはずがないという社会通念が、広く浸透していたのではないでしょうか。

根強く残る性別役割意識と社会的な慣例

一九七五年の「国際婦人年」を契機に、女性を取り巻く社会環境は少しずつ改善されてきています。女子差別撤廃条約の批准をはじめ男女雇用機会均等法の制定など、法律制度などの整備が進みました。在外大使や高等裁判所長官に女性が登用されるようになったもの大きな進歩です。

しかし、女性がさまざまな面において男性に劣らない能力や可能性をもっているにもかからわず、家庭、地域社会、職場などに固定的な性別役割意識や社会的な慣例が根強く残っています。それが女性の社会進出を制限し、活躍の場をせばめている現実も見逃せません。

男女は対等なパートナー

内閣総理大臣を本部長とする「婦人問題企画推進本部」では、今年五月、男女共同参加型社会の形成を目指した「西暦二〇〇〇年に向けての新国内行動計画」を発表しました。

男女共同参加型社会とは、家庭、地域社会、職場、政策決定の場などのあらゆる領域で、男性と女性が対等なパートナーとして共同参加できる社会を築こうというものです。

高年齢者雇用確保助成金と高年齢者多数雇用報奨金のお知らせ

高年齢者の雇用を促進するため次の助成金制度が設けられております。

◎雇用確保助成金！

定年の引上、定年到達者の再雇用等により、61歳以上まで雇用を延長する制度を設けた事業主に支給します。

支給金額 普通勤務者 1人当たり年額60万円（大企業45万円）
短時間勤務者 1人当たり年額30万円（大企業22万5千円）

◎多数雇用報奨金！

60歳以上65歳未満の高年齢者の雇用割合が、一定数・率以上の事業主に支給します。

支給金額…一定数・率を超えて雇用する高年齢者1人当たり、月2万円

※ 種々の支給条件がありますが紙面の都合で紹介できません。詳しいことは、当協会にお尋ねください。

支給申請締切日 昭和63年1月30日
社団法人 高知県雇用開発協会
☎0888―84―5213
高知市菜園場町1番21号 高知県住宅総合ビル4階408号

高知県雇用開発協会よりの助成金制度の概要のお知らせと高年齢者の雇用の安全のご協力のお願いをします。（役場産業課商工班）

やまびこ

句会作品抄

髪染めた少年集う 終戦日 杉本 賀美
原爆忌 ゴロンゴツンと石切場 猪野 義晴
「太陽は真赤なんだ」富士九合目 西岡 律子
白萩のかなたに見えて母の村 三谷 幸正
アイスコーヒーに溶かせた言葉拾っている 徳弘 妙子
石段を登りきるまで法師蝉 秋山 良恵
キャンプファイヤー消えて太古の闇となる 吉川 邦子
手花火に赤子の笑い祭り月 松浦 美恵
鬼灯に幼な心の手がのびる 長野 稔恵
逢うまでの刻ゆるゆるかに夏柳 秋山 成子
右上がりの君のくせ字に夏が来た 岡林 由佳
風の傷持つカンナ港に日昏れくる 徳弘賀年子
すでに晩夏廃娼館の彩ガラス 森 武司
伴侶なく死にたくもなし かなかなかな 鎌倉きみえ

国保税納期改正

☆今年から国保税の納期は7月から12月まで6回に分けて納付

税は納期限内に納めましょう！納期限を過ぎますと、延滞金が加算され、大変不利になります。このため、納税者に便利な預金口座振替制度があります。まだ制度をご利用されていない方は、ぜひこの機会に預金口座振替制度をご利用されますようおすすめします。

手続きは、あなたの取引金融機関でお願いします。

天坪地区公民館長 大豊町体育会顧問「高橋俊郎」氏急逝

大豊町体育会の顧問並びに大豊町体育指導委員会長等を歴任し、永年町民総スポーツの振興にご尽力頂いておりました、「高橋俊郎」氏（61）が去る十月十八日入院先の大杉中央病院で急逝しました。

高橋氏は県下初の体育指導委員制度発足以来委員として活躍され、町体育会の創立に尽された他、町社会教育委員、町文化財等調査委員、町公民館連絡協議会長等の要職を歴任しご活躍なされていた方でこのたびの、ご逝去が大変惜しまれます。

高橋氏の生前のご功績に対し深甚の敬意を表し、謹しんでご冥福を心からお祈り致します。

編集後記

やっと原稿もでき、レイアウトもどうにか様になった。

サアーこれから編集後記だ。最後のページの只の一欄がなかなか埋まらん。

釣瓶落しの秋の日は短かい。明日には印刷に出さなくてはますます遅れると気負いこむがなかなか書けん。

前月号の編集後記を取り出してじっと見る。読んでいるうちに自分でも顔が赤くなるのがわかる。

次号二三三号は編集中（九月下旬には発行予定）と堂々と書いているではないか。すでに二ケ月余りが過ぎている。怠けていた訳ではないが、秋は行事が多い。あれも入れたい、これも入れたいと焦っているうち記事は溜る。

結局前回よりも多い八ページという紙面になり記事も七月あり八月ありでなんとも格好のつかぬ季節はずれの館報になりました。

広報が後報となりましたことを深くお詫びします。

次号はお正月号でおめにかかることになります。

お正月号だけは遅らす訳にはいかないと頑張っております。来年は辰年とか竜の勢いにあやかりたいものです。

日が短くなり、景色も日毎に色あせてまいりました。

これからは厳しい寒さに向かいます。お身体を大切に

山崎

医療費はみんなのもの

☆国保財政の健全化にご協力を!!

めざましい医療・医術の進歩や、医療費の値上がりの影響もあって、昨年からの医療費は増え続けています。このままうなぎのぼりに増え続けていきますと、相互扶助を目的とした国保制度が崩壊しかねません。

不足分は国保税の値上げによって補うことになり、みなさんの負担がさらに増えることになります。これを防ぐためにも、一人ひとりが必要なとき、本当に必要な治療が十分受けられるためにも、お医者さんを転々としたり、不必要なクスリねだりをするような、むだな医療費を使わないようにお互いに気をつけましょう。

大豊町住民課保険班